

専任教員教育研究業績

平成 29 年 5 月 1 日

氏名	ふりがな	所属学科	職位	性別
大浦 賢治	おおうら けんじ	保育学科 通信教育課程	講師	男
担 当 科 目 名				
保育の心理学Ⅰ、保育の心理学Ⅱ、教育の方法と技術				
学 歴				
和暦 年 月	事 項			学位
昭和 58 年 4 月	日本大学通信教育部文理学部哲学専攻入学			
平成元年 3 月	日本大学通信教育部文理学部哲学専攻卒業			文学士
平成 2 年 4 月	日本大学大学院文学研究科哲学専攻入学			
平成 4 年 3 月	日本大学大学院文学研究科哲学専攻修了			修士(文学)
平成 18 年 4 月	早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻入学			
平成 20 年 3 月	早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了			修士(教育学)
平成 20 年 4 月	早稲田大学大学院教育学研究科教育基礎学専攻(博士課程)入学			
平成 26 年 3 月	早稲田大学大学院教育学研究科教育基礎学専攻単位取得退学			
教 育 歴 ・ 職 歴				
名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容		
東京立正短期大学	平成 23 年 4 月から 平成 24 年 3 月まで	現代コミュニケーション学科 幼児教育専攻特任講師		
小田原短期大学	平成 28 年 4 月から 現在まで	保育学科通信教育課程 特任講師		
所 属 学 会 等				
名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)		
日本発達心理学会	平成 18 年 8 月から現在	学会発表など		
日本教育心理学会	平成 20 年 4 月から 29 年 3 月	学会発表など		
日本心理学会	平成 29 年 4 月から現在	学会発表など		
社 会 活 動 等				
名 称	活動期間	活 動 内 容		
特別支援教育 学習支援活動	平成 20 年 10 月から 平成 22 年 3 月まで	LD や ADHD などの発達障害児を対象にした都内公立小学校における支援活動		
担 当 教 科 目 に 関 す る 資 格 ・ 免 許 等				
名 称	取得年月	取 得 機 関		
中学・高校 社会科専修免許	平成 4 年 3 月	東京都教育委員会		
中学・高校 英語科専修免許	平成 20 年 3 月	東京都教育委員会		
国連英検 A 級	平成 17 年 8 月	公益財団法人日本国際連合協会		

研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 主なもの 選言 3 段論法に関する推論様式の発達 (査読付)	単著	平成 24 年 9 月	日本教育心理学会 「教育心理学研究」 第 60 卷 3 号	選言 3 段論法に関する子どもの理解について検討したもの。結果から Piaget の発達理論が支持された。
子どもの条件文解釈における実用的推論スキーマ説の妥当性 (査読付)	単著	平成 26 年 9 月	日本発達心理学会 「発達心理学研究」 第 25 卷 3 号	実用的推論スキーマに関する研究。幼児から児童期におけるその妥当性は限定的と考えられた。
養子縁組と里親家族から考える 3 歳児神話 (査読付)	単著	平成 29 年 4 月	小田原短期大学研究紀要 第 47 号 (論文)	3 歳児神話に関して養子縁組や里親家族との比較から考察したもの。
特別支援教育における教師と学習支援員の関係はどうあるべきか：障害者問題に関する質的研究	単著	平成 24 年 3 月	東京立正短期大学紀要 第 40 号	学習支援の効果を高めるために現職教諭からインタビューしたものをまとめた質的研究。考察から両者は協働の関係にあることが分かった。
認知と情動の関係から見た「体罰」の意味	単著	平成 23 年 3 月	早稲田大学教育学会 紀要 第 12 号	脳機能の発達と、それに伴う認知と情動の関係を先行研究から探り、指導法としての体罰の是非を論じたもの。

<p>選言操作に関する心理学研究から見た Piaget 理論（査読付）</p> <p>（その他） 海外発表</p> <p>Pragmatic reasoning schemas in children's logical thinking</p> <p>Effects of culture and experience on children's reasoning ability</p>	<p>単著</p>	<p>平成 22 年 3 月</p> <p>平成 23 年 6 月</p> <p>平成 24 年 8 月</p>	<p>早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊 17-2</p> <p>41th Annual meeting of the Jean Piaget Society</p> <p>Shanaghai international conference on social science</p>	<p>発達心理学者ピアジェの理論に対するレビューおよび批判的考察。子どもの命題操作のうちで特に選言について検討した。</p> <p>幼稚園児と小学生を調査対象者として、条件 3 段論法課題を提示することにより、子どもの推論能力を検討した心理学的研究である。</p> <p>既存の経験や知識が幼児と児童の論理的思考に与える影響を検討した。</p>
<p>その他（表彰等）</p>				